

- 歯科材料 5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材（42483002）
*（歯科セラミックス用接着材料（70815000） 歯科金属用接着材料（70921000） 歯科用知覚過敏抑制材料（70926000）
歯科用シーリング・コーティング材（70860000）

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・本材及びメタクリレート系モノマーに対して、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・ユニドースタイプ、ディスポーザブル混和皿、ディスポーザブル アプリケーターブラシは再使用しないこと。

*【形状・構造及び原理等】

1. 形状

・アドヒーシブ

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブは1液性であり、ボトルタイプとユニドースタイプの2つのタイプがある。ボトルタイプは、ディスポーザブル混和皿に適量を取り、ディスポーザブル アプリケーターブラシにて使用する。ユニドースタイプは、a部分をつぶしてb部分に流し込み、ディスポーザブル アプリケーターブラシにて使用する。

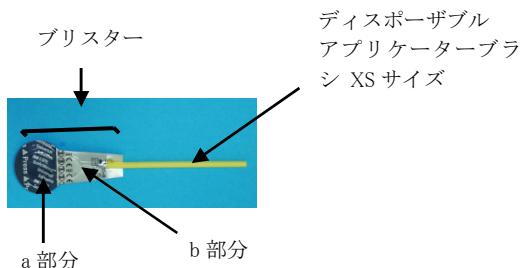
ボトルタイプ

スコッチボンド™
ユニバーサル
アドヒーシブ



ユニドースタイプ

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ



・構成

- 1) スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ
成分：リン酸エステル系モノマー、メタクリレート、重合開始剤、エタノール、その他
- 2) 付属品
ディスポーザブル アプリケーターブラシ XSサイズ
ディスポーザブル混和皿

2. 構造

本材は液状のため、構造は規定しない。

3. 原理

本材は歯科用コンポジットレジン、セメント、セラミックス、金属等の歯科材料の接着に用いられ、光エネルギーにより重合硬化するセルフエッチングアドヒーシブである。また、アドヒーシブを表面または界面に塗布することにより、象牙細管を封鎖し、知覚過敏を抑制する。又は歯質と修復物、補綴物との界面を封鎖する。

*【使用目的又は効果】

〔使用目的〕

- ・象牙質を含む窩洞若しくは欠損又は人工歯冠等装置への接着に用いる。
- ・歯科用セラミックスで作製した歯科修復物又は装置の接着に用いる。
- ・金属修復物又は装置の接着に用いる。
- ・象牙質又は形成象牙質の知覚過敏抑制に用いる。
- ・象牙細管の封鎖、又は歯質と修復物、補綴物等との界面の封鎖に用いる。

〔使用用途例〕

- ・光重合型の歯科充填用コンポジットレジンによる充填修復
- ・象牙質知覚過敏抑制
- ・間接修復法の前処理としての窩洞のシーリング・コーティング
- ・コンポジットレジンの補修修復
- ・ポーセレンの破折修復
- ・ポーセレンラミネートベニアへの適用
- ・小窩裂溝封鎖材への適用など

*【使用方法等】

＜光重合型の歯科充填用コンポジットレジンによる充填修復＞

1. 窩洞形成
適法に従って窩洞形成を行い、水洗、乾燥します。
2. アドヒーシブの準備
 - 1) スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ ユニドースタイプ
親指と人差し指を用いて、大きく膨らんでいる部分(a部分)から本材をディスポーザブル アプリケーターブラシが入っている部分(b部分)に搾り出します。ディスポーザブル アプリケーターブラシを回して、本材がブラシに十分につくようにします。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

 - (1) ディスポーザブル アプリケーターブラシがブリスターから引き抜かれた状態で搾り出さないこと。
 - (2) 内容物の噴出を避けるため、ディスポーザブル アプリケーターブラシの柄の部分のブリスター開口部を押さえること。
 - (3) 使用中は内容物がb部分に留まるように親指と人差し指でa部分を押さえ続けること。
 - (4) 窩洞へ塗布し易くするために、ディスポーザブル アプリケーターブラシを曲げて使用することができます。その場合は、ディスポーザブル アプリケーターブラシがブリスターに入っている状態でディスポーザブル アプリケーターブラシをくびれた部分が見えるまで引き抜き、親指の爪を使って折り曲げること。
- 2) スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ ボトルタイプ

キャップの側面のくぼみに親指を置いて、キャップを開きます。ディスポーザブル混和皿に本材を適量採取します。使用後は直ちにキャップをカチッと音がするまで閉め、光から保護するようにします。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) 使用後は、速やかにキャップをしっかりとしめること。
- (2) ボトルを清潔に保つこと。

3. アドヒーシブ塗布・乾燥

窩洞にスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理します。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。

4. 乾燥後、10 秒間照射します。

5. コンポジットレジン充填

3M 製光重合型歯科充填用コンポジットレジンにて充填し、仕上げ研磨を行います。

<象牙質知覚過敏抑制>

1. 歯面の清掃・水洗・乾燥・防湿

通法に従って歯面を清掃し、水洗後、水や油を含んでいないエアードまたは綿球で乾燥します。その後、防湿を行います。

2. アドヒーシブ塗布・乾燥・光照射

窩洞にスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理します。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。乾燥後、10 秒間照射します。

* <間接修復法の前処理としての窩洞のシーリング・コーティング>

1. アドヒーシブ塗布・乾燥・光照射

窩洞にスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理します。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。乾燥後、10 秒間照射します。

<小窩裂溝封鎖材への適用>

1. 歯面の清掃・水洗・乾燥・防湿

通法に従って歯面を清掃し、水洗後、水や油を含んでいないエアードまたは綿球で乾燥します。その後、防湿を行います。

2. アドヒーシブ塗布・乾燥

当該部位にスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理します。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。

3. 小窩裂溝封鎖材填塞

3M 製光重合型小窩裂溝封鎖材を填塞します。

<コンポジットレジンの補修修復>

1. 被着面の粗面化

既存のコンポジットレジンの表面をダイヤモンドバー等によって粗面化します。

2. 水洗・乾燥・防湿

水洗後、水や油を含んでいないエアードまたは綿球で乾燥します。その後、防湿を行います。

3. アドヒーシブ塗布・乾燥・光照射

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理します。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。乾燥後、10 秒間照射します。

4. 光重合型コンポジットレジンによる補修修復

<ポーセレン破折修復>

1. 被着面の粗面化

破折修復を行う表面をダイヤモンドバー等によって粗面化します。サンドブラスト (40 μ m以下のアルミナ研削材) で既存の金属又はポーセレンの表面を粗造化することが望ましいです。ポーセレンが緩んでいるところはゆっくり取り除き、マージン部分には幅1mmのベベルをつけます。

2. 水洗・乾燥・防湿

水洗後、水や油を含んでいないエアードまたは綿球で乾燥します。その後、防湿を行います。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

接着力が下がるため、金属の表面はリン酸で処理しないこと。

3. アドヒーシブ塗布・乾燥・光照射

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理します。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。乾燥後、10 秒間照射します。

4. マスキング

補修修復に用いるコンポジットレジンに築盛する前に金属表面を遮蔽するため、マスキング材を薄く塗布します。マスキング材の使用法はその添付文書に従ってください。

5. 光重合型コンポジットレジンによる補修修復

<ポーセレンラミネートベニアへの適用>

1. ポーセレンラミネートベニアの接着面は事前に技工所で適切に表面処理をします。

2. 通法に従って歯面を清掃し、水洗後、水や油を含んでいないエアードまたは綿球で乾燥します。

3. リライエクス™ トライインペーストを使用してポーセレンラミネートベニアを試適します。

4. リライエクス™ トライインペーストを水洗して歯面とポーセレンラミネートベニアから除去します。

5. 水洗後、水や油を含んでいないエアードまたは綿球で乾燥します。

6. 防湿をし、透明マトリックステープを使用します。

7. スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャントシリンジまたはスコッチボンド™ エッチャントを用いて、歯面に15 秒間処理した後、10 秒間水洗し、乾燥します。

8. 歯面にスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブを塗布し、20 秒間処理します。

9. 塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。照射はしません。

10. ポーセレンラミネートベニアにスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブを塗布します。

11. 塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約5 秒間乾燥します。照射はしません。

12. リライエクス™ ベニアセメントペーストの添付文書に従ってください。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

1) 未切削のエナメル質の場合は、通法に従いエナメル質を清掃し、リン酸エッチングゲルで15 秒間エッチングし、十分に水洗後、乾燥すること。

2) 万一露髄が起こった場合・直接覆髄が必要な場合には、少量の水酸化カルシウム製剤を用いた後にビトラボンド™ 光重合ガラスアイオノマー裏装材で裏装すること。またきわめて深い窩洞の場合もビトラボンド™ 光重合ガラスアイオノマー裏装材で裏装することをお勧めします。

3) 形成時の切削片を除去すること。

4) 形成後の歯質を乾燥しすぎないこと。術後疼痛を引き起こす恐れがあります。

5) 必要に応じてラバーダムなどの防湿処置を行うこと。

6) 溶媒のアルコールが残ると光硬化が妨げられるので、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで乾燥すること。

7) コンポジットレジン充填にあたっては照射を十分に行い、シェード毎の厚みと照射時間を守り、必要に応じて積層充填をすること。

- 8) 接着力が下がるため、金属の表面はリン酸で処理しないこと。
- 9) 使用したディスポーザブル アプリケーターブラシは廃棄すること。
- 10) 本品による処理中に、被着面が唾液や血液等により汚染されないように注意すること。

【光照射に関連する使用上の注意】

- 1) 照射時間は、3M 製または同等の光強度（400mW/cm²以上）のハロゲンランプ照射器を想定しています。実際使用前に本材が確実に硬化する条件を確認すること。
- 2) 常に十分な光量を得るには、光照射器の定期点検が必要です。信頼できるメーターを使って定期的に出力を確認すること。
- 3) 照射光は直視を避けて、保護眼鏡等の防護処置をすること。
- 4) できるだけ修復部位に照射光を近接させて、修復部位に垂直に保持し、照射すること。
- 5) 照射口より修復部位が大きい場合は、修復部位全体を照射するよう、何ヶ所かに分けて分割照射すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

1) 患者に対しての注意

本材に含まれる成分により、皮膚接触アレルギー反応が生じることがあります。アレルギーの危険を減少させるために下記の事項に注意すること。

- ・メタクリレート類に対してアレルギーの既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・口腔内軟組織に液が長時間触れた場合は、大量の流水で洗い流すこと。
- ・アレルギー反応が生じた場合、本材を除去し、その後の本材の使用を中止すること。必要に応じて専門医の診察を受けさせること。
- ・万一、眼に入った場合には、すぐに大量の水で洗浄して専門医（眼科医）の診察を受けること。

2) 歯科医療従事者に対しての注意

本材に含まれる成分により、皮膚接触アレルギー反応が生じることがあります。アレルギーの危険を減少させるために、下記の事項に注意すること。

- ・接触を最小限にすること。特に、未重合の液への接触を避けること。
- ・万一、液が皮膚に付着した場合には、せっけんと流水で洗い流すこと。
- ・保護手袋を使用し、触れないようにすること。一般的に使用されている手袋はメタクリレート類の浸透が知られていますので、液が手袋に付着した場合は手袋を捨て、すぐにせっけんと流水で手を洗い、その後新しい手袋をすること。
- ・万一、アレルギー反応が生じた場合は、必要に応じて専門医の診察を受けること。
- ・万一、眼に入った場合には、すぐに大量の水で洗浄して専門医（眼科医）の診察を受けること。

3) 本材が患部以外の部位に付着しないように十分注意すること。一部の症例で歯肉表面に変化が生じることがありますが、これは一過性の現象です。

4) 本材と他の歯科用製品とを混ぜて使用しないこと。

5) ユージノールを含有する材料は本材の重合に悪影響を及ぼす可能性があるため使用しないこと。

6) ユニドースタイプ、ディスポーザブル混和皿、ディスポーザブル アプリケーターブラシは再使用しないこと。

7) 本材は可燃性物質であるエタノールを含むため、火気の近くで使用しないこと。

2. その他の注意

1) 本材を高温または直射日光にさらさないこと。

2) ユージノール系製品と同じ場所には保管しないこと。

3) 本材を誤飲させないように注意すること。

4) 本材を使用するにあたっては、本材が患者の症例に適合するかどうかを、歯科医師が判断すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

1) スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブは、2～25℃で保存すること。

2) 火気の近くに保管しないこと。

・スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ ユニドースタイプ

火気厳禁 第四類第二石油類（水溶性）、危険等級Ⅲ、0.11mL

・スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ ボトルタイプ

火気厳禁 第四類第二石油類（水溶性）、危険等級Ⅲ、1.5mL、5mL

2. 有効期間

1) 包装に記載 [自己認証(製造元データによる)]

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

* 名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

** TEL：0120-332-329（カスタマーコールセンター）

外国製造所の国名及び製造業者の名称

** ドイツ、スリーエム ヘルスケア ジャーマニー ゲーエムベーハー（3M Healthcare Germany GmbH）

ビトラボンド、スコッチボンド、リライエックスは3M社の商標です。